

記者発表（配付）資料

平成 21 年 9 月 18 日

所属部課	館 長	副 館 長	統括学芸員	庶務係長	連絡先
歴史まちづくり部 萩博物館	高木正熙	樋口尚樹	清水満幸	植村 正	25-6447

件 名	テーマ展「知られざる萩の焼物―須佐焼―」について
-----	--------------------------

今年度から博物館のエントランスホールの一画を利用して、年 3 回程度のテーマ展を行うことになりました。この展示は、その第 2 回目となります。

1. 会 期 : 平成 21 年 9 月 19 日（土）～12 月 4 日（金）
2. 会 場 : 萩博物館エントランスホール（山口県萩市堀内 355 TEL0838-25-6447）
※無料で観覧できます。
3. 開館時間 : 午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
4. 展示内容 : 須佐焼は須佐唐津焼ともいい、江戸時代の初めごろに窯が開かれた。萩藩永代家老の益田家の御用窯だけでなく、萩本藩の御用もつとめ、民間にも広く販売された。茶碗・甕・鉢・皿など茶道具から日用雑器に至るまで多種にわたり、青磁のほかに萩焼風のものや鉄釉などを施したもの、
染付・上絵付など多様な製品を生産した。昭和 8 年（1933）に操業を停止したが、近年、窯の復興が図られている。
5. 展示資料数 : 13 点
6. 主要展示資料 : 水甕（写真 1）
大鉢（10 代土谷道仙作）
茶碗（土谷如鴻作）
油つぎ（文化 12 年＝1815 年、唐津村伊藤家作；写真 2）
香炉



写真1：水甕



写真2：油つぎ